【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【公開番号】特開2012-190485(P2012-190485A)
【公開日】平成24年10月4日(2012.10.4)
【年通号数】公開・登録公報2012-040
【出願番号】特願2012-133042(P2012-133042)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　 1/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　５６０Ｃ
Ｈ０４Ｍ　 1/00　　Ｕ

【手続補正書】
【提出日】平成25年1月7日(2013.1.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の携帯型の情報処理装置を含む通信システムであって、
前記情報処理装置はそれぞれ、
近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して第１データを自動的に送信する送信手段と、
他の情報処理装置の前記送信手段により送信された第１データを自動的に受信する受信手段と、
ユーザの操作に基づいて、前記受信手段により受信された第１データの内容に対する第２データを生成するデータ生成手段とを備え、
前記送信手段は、再度、近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して、前記データ生成手段により生成された第２データを、当該第２データに対応する第１データの送信元を指定して送信する、通信システム。
【請求項２】
携帯型の情報処理装置のコンピュータを、
近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して第１データを自動的に送信する送信手段と、
他の情報処理装置の前記送信手段により送信された第１データを自動的に受信する受信手段と、
ユーザの操作に基づいて、前記受信手段により受信された第１データの内容に対する第２データを生成するデータ生成手段として機能させ、
前記送信手段は、再度、近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して、前記データ生成手段により生成された第２データを、当該第２データに対応する第１データの送信元を指定して送信する、情報処理プログラム。
【請求項３】
前記受信手段は、他の情報処置装置の前記送信手段により送信された第２データを自動的に受信し、
前記コンピュータを、

前記受信手段により受信された第２データの内容と当該第２データに対応する第１データの内容とを出力装置に出力させる出力制御手段としてさらに機能させる、請求項２に記載の情報処理プログラム。
【請求項４】
前記送信手段は、前記第２データとともに当該第２データに対応する第１データを送信する、請求項２または３に記載の情報処理プログラム。
【請求項５】
前記送信手段は、近距離無線通信による通信範囲内の他の情報処理装置を繰り返し探索して自動的に無線接続し、無線接続した他の情報処理装置に対して、前記第１データおよび前記第２データの少なくともいずれかを送信する、請求項２ないし４のいずれかに記載の情報処理プログラム。
【請求項６】
前記送信手段は、不特定の他の情報処理装置に対して、前記第１データおよび前記第２データの少なくともいずれかを送信する、請求項２ないし５のいずれかに記載の情報処理プログラム。
【請求項７】
複数の携帯型の情報処理装置を用いる情報処理方法であって、
近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して第１データを自動的に送信する送信ステップと、
他の情報処理装置の前記送信手段により送信された第１データを自動的に受信する受信ステップと、
ユーザの操作に基づいて、前記受信ステップにおいて受信された第１データの内容に対する第２データを生成するデータ生成ステップとを備え、
前記送信ステップでは、再度、近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して、前記データ生成ステップにおいて生成された第２データを、当該第２データに対応する第１データの送信元を指定して送信する、情報処理方法。
【請求項８】
近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して第１データを自動的に送信する送信手段と、
他の情報処理装置の前記送信手段により送信された第１データを自動的に受信する受信手段と、
ユーザの操作に基づいて、前記受信手段により受信された第１データの内容に対する第２データを生成するデータ生成手段とを備え、
前記送信手段は、再度、近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して、前記データ生成手段により生成された第２データを、当該第２データに対応する第１データの送信元を指定して送信する、携帯型の情報処理装置。
【請求項９】
近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して第１データを自動的に送信する送信手段と、
他の情報処理装置の前記送信手段により送信された第１データを自動的に受信する受信手段と、
ユーザの操作に基づいて、前記受信手段により受信された第１データの内容に対する第２データを生成するデータ生成手段とを備え、
前記送信手段は、再度、近距離に存在する他の情報処理装置と自動的に接続し、接続した他の情報処理装置に対して、前記データ生成手段により生成された第２データを、当該第２データに対応する第１データの送信元を指定して送信する、情報処理システム。